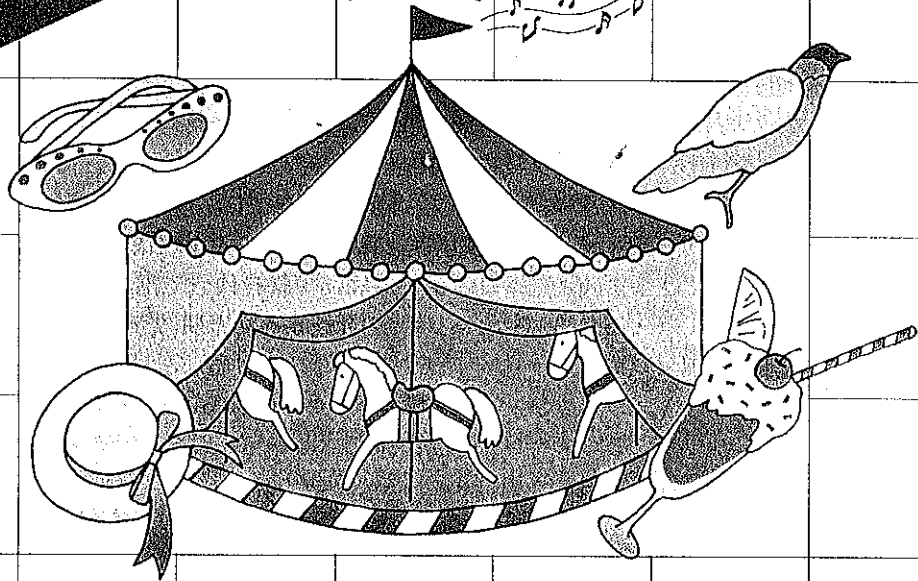


ySound

ハンディサウンド HS-501 ★ご使用の手引き

わくわくフリス



ハンディサウンド HS-501

## ごあいさつ

このたびは、ヤマハハンディサウンドHS-501をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

HS-501は、常に新しい電子鍵盤楽器を誕生させてきたヤマハが、その優れたエレクトロニクス技術を駆使して作りあげた、ゲーム付の軽量・コンパクトな楽器です。ピアノ、オルガン、クラリネットなど親しみやすい5つの音色、そして3つの楽しいLSIゲームが、いつでもどこでもプレイできます。しかも3つのゲームは、5線譜を使って出題され、それを鍵盤で答えるため、もっとも聴覚の発達する幼児期、児童期のお子さまは、楽しみながら自然に音楽の基礎を身につけることができます。本書では、ハンディサウンドHS-501をご使用になるときの大切なことがらを説明しております。実際に操作しながら、お読みください。また、保証書とともに大切に保管してください。

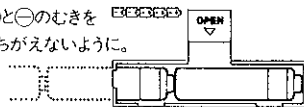
## ご使用にあたって

### 電源について

●電池をつかうとき。

裏にあるふたをあげ、単3電池を  
一列に5コ入れます。

※⊕と⊖のむきを  
まちがえないように。



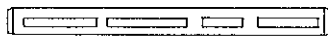
●コンセントから電気をとるとき。

専用の電源アダプターをつか  
います。(くわしくは19ページ)

★電源スイッチを入れたまま約5分間ほお  
っておくと、自動的に電源が切れます。その場  
合はスイッチを入れなおしてください。(ただし、  
ゲームをスタートすると電源が切れないこと  
があります。)

### 和文シートについて

スイッチなどの呼びかたが和文  
で書かれた、便利なシートを付属  
品として用意しました。黄色の紙  
をはがしたうえで、本体にはりつ  
けておつかいください。



(保護フィルムをはがしておつかいください)

ご使用にあたっては、かならず  
18ページの“取扱い上のご注  
意”をお読みください。

## もくじ

	ページ
●ご使用にあたって……………	1
■ゲームをはじめるまえに……………	2
★ゲーム1：サウンドリレー……………	4
★ゲーム2：サウンドポーカー……………	6
★ゲーム3：サウンドファイター……………	8
■ハンディサウンドはやわかり……………	10
■音色・サスティン……………	12
★けんぱんあそび……………	14
★さあ、ひいてみましょう……………	16
●取扱い上のご注意……………	18
●付属端子とオプション……………	19
●ヤマハ音楽教室をご紹介します……………	20
●仕様……………	21
●サービスと保証について……………	21

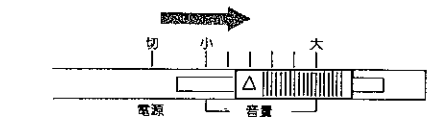
# ゲームをはじめるまえに

【おかあさまへ】 ハンディサウンドの3つのゲームは、それぞれ遊びとして楽しめるばかりでなく、お子さまにとって大切な音楽の基礎や反射神経が知らず知らずのうちに身につけられます。

<b>GAME 1</b> (音まねゲーム) <b>サウンドリレー</b> 5線譜に出題される音を、鍵盤で弾いて答えるゲーム。	<b>GAME 2</b> (音ならべゲーム) <b>サウンドポーカー</b> 5線譜上を動く音符を、同じ音の位置で止めるゲーム。	<b>GAME 3</b> (音打ちゲーム) <b>サウンドファイター</b> 5線譜に現われる音符を鍵盤を使って打ち落とすゲーム。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍵盤を弾いて答えるゲームですから、5線譜と鍵盤の関係が自然に覚えられます。</li> <li>● 出題のとき、音も一緒にでてきますから、“聴奏”や“模奏”といった音楽の基礎的な学習に役立ちます。</li> <li>● 答えるとき5本の指を全部使うようにすれば、運指の練習にもなります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すばやい反応が要求されますから、反射神経を養うには最適のゲームです。</li> <li>● 音階(ハ長調)を聴いてゲームを行うため、自然に音感が身につきます。</li> <li>● 音符の動きの遅いうちは、音符表示を見ないことで、聴音のトレーニングもできます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5線譜上の音符の位置に鍵盤を対応させるため、鍵盤学習の基礎トレーニングになります。</li> <li>● 音符から打ってくるタマを避ける必要があるため、反射神経が養えます。</li> <li>● 1000点までは、音符表示を見ないことで、聴音のトレーニングもできます。</li> </ul>

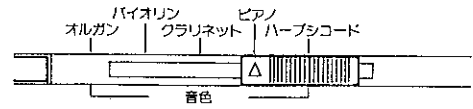
## 【セットのしかた】

① 電源・音量スイッチを入れます。



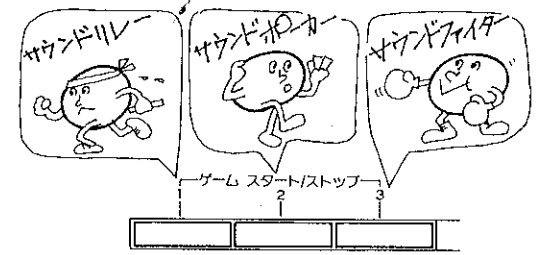
右にずらすほど音が大きくなります。

② すきな音色にセットします。



どの音色でもゲームができます。

③ ゲームのボタンをひとつおしてください。



さあ、ゲーム開始!!  
 (とちゅうでゲームをやめたいときは、もういちど同じボタンをおします。)

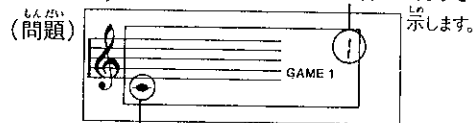
# GAME 1 サウンドリレー

いくつ、おぼえられるかな?

## ゲームのあそびかた

- まず、ゲーム1のボタンをおしてください。音がひとつでてきますから、それと同じ音をけんばんでおさえましょう。

[1音めの例]

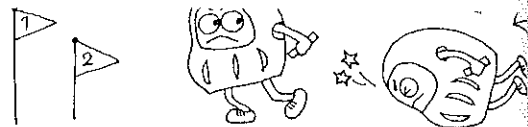


出題された音。



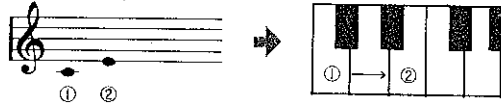
1音めから8音めまでつかうけんばん(白けんだだけ)。

9音めから16音めまでつかうけんばん(白けんだだけ)。



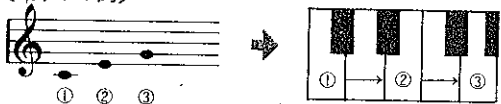
- つぎは、最初の音につづいて、もうひとつ音がでてきます。順番にひきましょう。

[2音めの例]



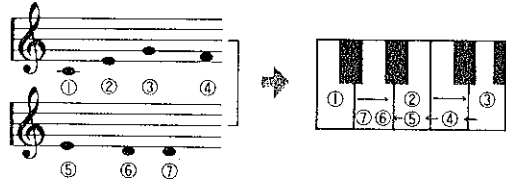
- 2音めができたなら、つぎは3つ、そのつぎは4つと、ひとつずつ音がふえていきます。

[3音めの例]



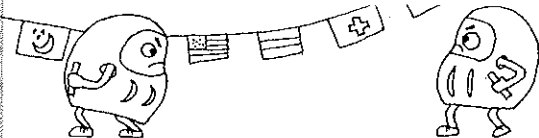
- 5音めからは、2回以上にわけて問題がだされます。

[7音めの例]



★いちどでおぼえられなかったら、答えるのをまってください。問題が何回もだされますから、よくきいておぼえましょう。

★まちがえたと思ったら、すぐにひきなおしてください。



## ゲームメモ

- 1回がそれぞれ100点満点で、まちがえると減点されます。
- 80点以上でゲームがつづけられ、最高16音まで出題されます。最高点は1600点。
- 4音めまでは、ひとつでもまちがえるとゲームがおわります。
- 5音めから9音めまではひとつ、10音めから16音めまでは2つか3つまちがえても、80点以上ならゲームがつづけられます。
- ひきなおしたときの最高点は95点です。
- 9音めからは、音域がC(D)～C(D)にひろがり、出題のスピードもはやくなります。
- 4音めごとに、それまでの合計点がでてきます。
- 9音め以上にすすむと、ゲームのおわりにファンファーレがなります。
- 出題される音は、ゲームごとにかわります。

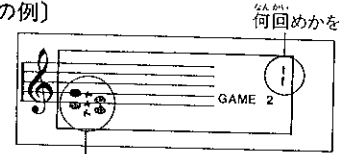
# GAME 2 サウンドポーカー

いくつ、ならべられるかな?

ゲームのあそびかた

- ゲーム2のボタンをおすと、音符が上下にうごきはじめます。けんばんをおして、音符をとめてください。(どのけんばんでもかまいません。)

[1列めの例]



C(ド)からC(ド)までのあいだを上下します。 ↓ けんばんをおす。



とめるところは、どこでもかまいません。

- 1列めをとめると、2列めの音符がうごきはじめます。こんどは、1列めと同じところでとめてください。

[2列めの例]

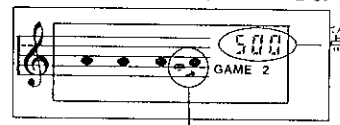


1列めと同じところでとめます。

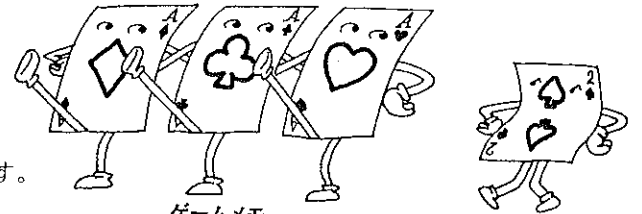
- 3列めも、同じところでとめます。

- 4列めをとめると、1回めがおわります。

[4列めの例]



↓ けんばんをおす。



ゲームメモ

- 3つ以上ならべると、つぎの回にすすめます。同じようにして、音符を横1列にならべていきましょう。

★ゲームの回数がすすむにつれて、音符のうごきがすこしずつはやくなっていきます。よく音をききながら、すばやくけんばんをおしてください。

- 4つならぶと500点、3つならぶと300点。
- 2つずつ2組ならぶと200点、2つならぶと100点ですが、3つ以上ならばないとゲームはおわります。
- 失敗するまでゲームがつづけられ、10000点をこえるとゲーム終了。
- 3列めまでならぶと、4列めがはやくうごきます。
- 音符をとめないでくと、だんだんはやくなり、64回うごいて自動的にストップします。
- 1回おわるごとに、それまでの合計点を表示。
- 1000点以上とると、ゲームのおわりにファンファーレがなります。

ハンズアップ! ハンズアップ!

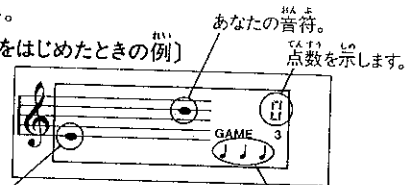
# GAME 3 ワンポイントファイター

いくつ、あてられるかな?

## ゲームのあそびかた

- ゲーム3のボタンをおすと、音符が2つでてきます。左の音符と同じ音をけんばんでおしてください。

(ゲームをはじめたときの例)



この音符を打ちおとします。



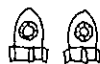
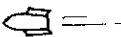
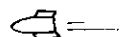
2000点までつかうけんばん(白けんだけ)。

2000点からつかうけんばん(白けんだけ)。

- 右の音符がうごき、タマが発射されます。すると左の音符が打ちおとされます。

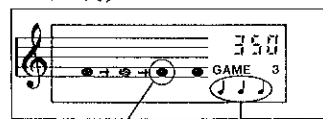


- ひとつ打ちおとすと、つぎの音符がでてきます。同じようにして、つぎつぎに打ちおとしてください。



★左の音符もタマを打ってきます。このタマにあたりと打ちおとされますから、タイミングに気をつけましょう。

(打ってきたときの例)



タマにあたり、ひとつきえます。(3つともきえるとゲーム終了)

★2000点をこえると、すこしむずかしくなります。タマにあてられないように気をつけてください。

★5000点をこえると、ますますスピードアップ。タマをうまくよけながら、すばやく打ちおとしましょう。

## ゲームメモ

- ひとつ打ちおとすごとに50点。
- 手持ちの音符が3つともなくなるまでゲームがつづけられます。
- 2000点と5000点で、手持ちの音符がふたたび3つになります。
- 最高点は10000点。(10000点でゲーム終了)
- 2000点をこえると、つかう音域がC(ド)~C(ド)にひろくなります。
- 1000点以上とると、ゲームのおわりにファンファーレがなります。
- たがいに打ちあって、相方のタマが途中でぶつかったときは、はやく打ったほうが勝ちます。
- 同じ音がつづくときは、とくに注意しましょう。

ゲームのときに<sup>しつぱい</sup>出題の<sup>ばん</sup>音符と、<sup>ばん</sup>ゲーム番号、<sup>てんすう</sup>点数、<sup>もんごう</sup>問題数などが<sup>ひょうじ</sup>表示されます。

ゲームボタン (13~15ページ)

どれかひとつおすと、ゲームがスタートします。  
もういちどおすとゲームがストップします。

音色 (3, 12ページ)

オルガンやピアノなど、5つの楽器の音がえらべます。

サステイン (12ページ)

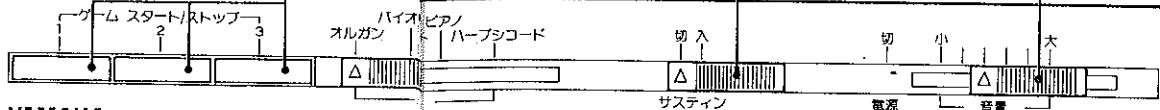
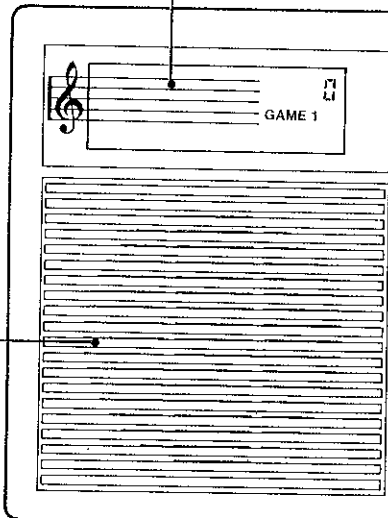
えらんだ音色がながくのびます。

電源・音量スイッチ (3ページ)

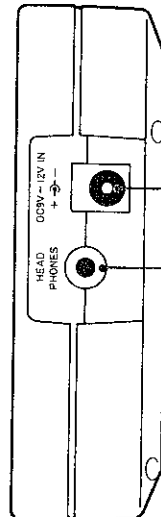
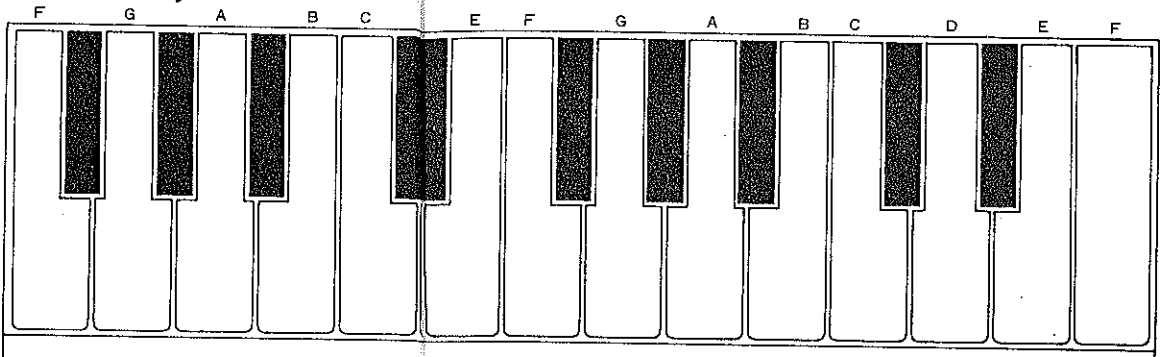
“小”のところ<sup>でんげん</sup>で電源がはいり、<sup>おと</sup>右にずらすほど音が大きくなります。

スピーカー

( )内は説明しているページ数です。



YAMAHA HandySound HS-501

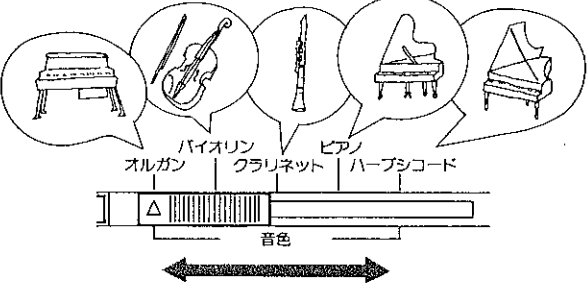


{DC9V-12V IN} 端子 (10ページ)

ヘッドホン端子 (19ページ)

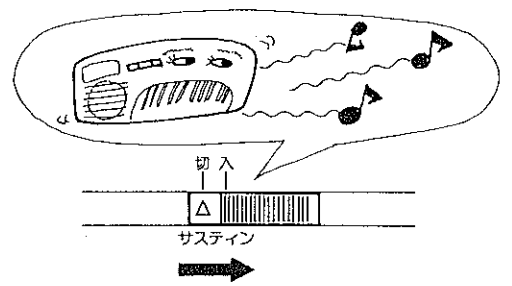
# 音色・サスティン

好きな楽器の音でひいてみましょう。



- まず、電源・音量スイッチを入れてください。
- 音色スイッチをずらして、好きな楽器のところに合わせましょう。
- ゲームをしていないときは、同時に4つまで音がだせます。

音に“のび”をつけてみましょう。



- サスティンのスイッチを右にずらして、けんばんをひいてみましょう。けんばんから指をはなしたあと、音がながくのびるようになりましたね。
- ゲームをしているときは、サスティンがかかりません。

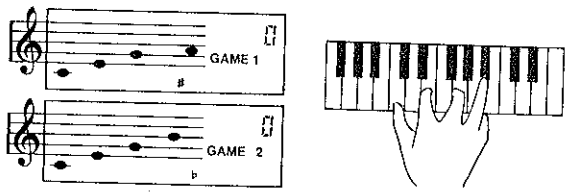
ひいた音が表示されます。

- ゲームをスタートさせるまえか、ゲームがおわったあとに、けんばんをおさえてみましょう。おさえた音が液晶表示板の5線譜に表示されます。



- ゲーム1かゲーム3が表示されているとき、黒鍵をおさえると、5線譜の下に#(シャープ・半音上ということを示す記号)がでてきます。ゲーム2が表示されているときは、b(フラット・半音下ということを示す記号)がでてきます。

- つぎに、2つ以上の音をいっしょにおさえてみましょう。おさえた音がぜんぶ表示されます。(4音まで、低音優先)



【おかあさまへ】

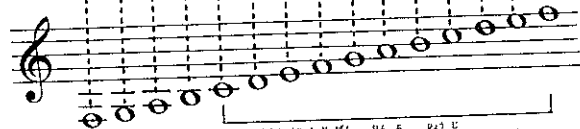
- ★ひいた音そのまま表示されるため、お子さまは鍵盤と5線譜の関係が視覚的に覚えられます。
- ★4音まで同時に表示されますから、和音の構成音などを学習するときにも役立ちます。



# けんぱんあそび

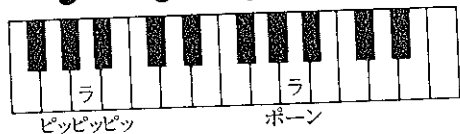
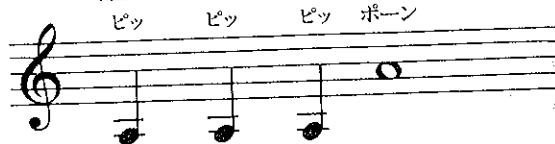
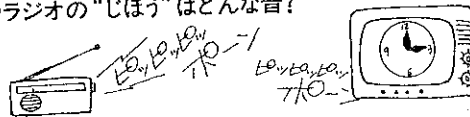
けんぱんと5線譜の関係をおぼえよう。

エフ ジー エー ビー シー ディー イー エフ ジー エー ビー シー ディー イー エフ  
F G A B C D E F G A B C D E F



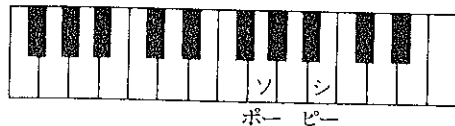
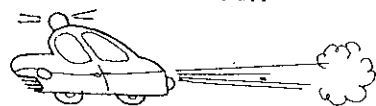
液晶表示板に音符が表示されます。

テレビやラジオの“じほう”はどんな音?



- ピアノの音でやってみましょう。
- “じほう”の音につかわれているラの音は、音楽でもたいせつです。

パトカーやきゆうきゆうしゃのサイレンはどんな音?



- オルガンの音でやってみましょう。
- 音を大きくしたり、小さくしたりすると、パトカーの遠近感が感じられます。

デパートのよびだしのチャイムはどんな音?



- ピアノの音にして、サスティンも入れましょう。
- 音をひとつずつきいて、はずむようにひきましょう。

# ★ さあ、ひいてみましょう

〔おかあさまへ〕  
 ●右手の指を5本とも使って弾くことは、鍵盤学習の基本です。ド=親指、レ=人さし指、ミ=中指、ファ=くすり指、ソ=小指で弾けるようにしましょう。

こぎつね ドイツ民謡 勝承夫詞  
 おかあさんといっしょにひきましょう。

おかあさま

ド レ ミ ファ ソ ソ

こぎつね こん こん (やまのな か) (やまのな か)

くさのみ つぶして おけしょう したり

おかあさま

もみじのかんざし つげのくし

げんこつやまのたぬきさん わらべうた  
 おともだちにおゆうぎしてもらいましょう。

〔おかあさまへ〕  
 ●おかあさまは、メロディーと一緒に歌ってあげましょう。  
 ●[17]のところは、はずむように弾きます。

げん こつやまの たぬきさん

おっ ぱいのんで ねんねして

だっ こしておんぶして またあした

## 取り扱い上のご注意

ハンディサウンドをつかうときは、つぎのことに気を付けましょう。

- けんぱんやスイッチのすきまに、小さなものや水などが入らないように気を付けましょう。
- たたいたり、なげたり、のったりしないでください。らんぼうにあつかうと故障することがあります。
- つかいおわったら、かならず電源スイッチを切るようにしましょう。
- ながいあいだつかわないうちや、電源アダプターをつかうときは、電池をぬいておきましょう。
- つかわないうちは、専用のケースに入れておきましょう。

### 〔おかあさまへのお願い〕

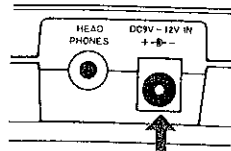
- 電池が消耗すると、雑音や誤動作の原因となることがあります。電池を全部新しいものと取りかえてください。
- 音量を大きくして長時間使用すると、音にひずみが生じることがあります。その場合は、音量をさげてください。
- 高温、多湿の場所に長時間放置することはさけてください。本体に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。直射日光のあたる場所や窓をしめきった車の中などは要注意です。
- 本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきするか、よごれの目だつときは、少し水で温らせた布でふいてください。アルコールやシンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。



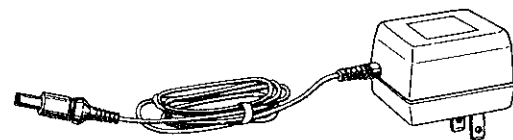
## 付属端子とオプション

本体の右側面についている付属端子には、オプション(別売付属品)を接続してお使いください。

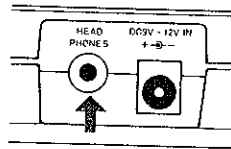
### ● 電源アダプター〔PA-2〕(別売)



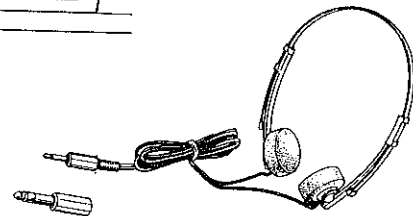
〔PA-2〕



### ● ヘッドホン〔YH-35〕(別売)



〔YH-35〕



# ヤマハ音楽教室をご紹介します

ヤマハ音楽教育システム		
ジュニア科 専門コース	ジュニア科 アドバンスコース	ジュニア科 エレクトーンコース
4年	2年	4年
3年	1年	3年
2年	2年	2年
1年	1年	1年
(オーバーアクション) ジュニア科 アンサンブルコース		2年
幼児科2年		1年
幼児科1年		エレクトーン スクール

幼児科.....  
 幼児科は、幼児が言葉を憶えるように、やさしく、正しく音楽の指導をします。楽しい雰囲気の中で、合唱、合奏、そして遊びができるグループレッスンです。

- 対象—4才児(入会時) ●期間—2年間 ●レッスン—週1回1時間、年44回、原則として母親同伴

エレクトーンスクール.....  
 エレクトーンを通じてリズム、メロディー、ハーモニーなどの音楽の基礎を身につけ、演奏法を学び、さらには子供たちの豊かな創造力(創作)を養う教室です。

- 対象—小学生 ●期間—2年間 ●レッスン—週1回1時間、年44回、グループレッスン5~10人1クラス

ジュニア科.....  
 幼児科・エレクトーンスクールを卒業したお子さまのために。

- ジュニア科エレクトーンコース(4年間)——前半は総合音楽力の養成、後半はエレクトーンの演奏力を育成。
- ジュニア科アンサンブルコース(2年間)——エレクトーン、ピアノを中心とした鍵盤演奏、創作の勉強。
- ジュニア科アドバンスコース(2年間)——アンサンブルコース修了者が、さらに鍵盤演奏力を向上させます。
- ジュニア科専門コース(4年間)——演奏面にも創作面にも、高度な技術を身につけることが目標です。

## 仕様

- 鍵盤=25鍵(F<sub>2</sub>~F<sub>4</sub>)
- 音色=オルガン、バイオリン、クラリネット、ピアノ、ハーブシコード
- 効果=サスティン
- ゲーム=1・2・3、液晶表示板
- コントロール=電源音量スイッチ
- 付属端子=ヘッドホン、DC9V~12V IN
- メインアンプ=0.5W
- スピーカー=5.7cmφ、8Ω
- 定格電圧=DC7.5V、乾電池単三5個
- 消費電力=0.85W
- 付属電池での使用時間=オルガン音色で、1音を連続押鍵のとき約28時間(室温26℃)
- 寸法・重量=間口31.5cm、奥行9.5cm、高さ3.0cm、重さ550g(電池含む)
- 外装=ハイインパクトスチロール仕上げ
- 付属品=単三電池5個、ソフトケース、和文シート

## サービスと保証について

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申しつけください。

●保証期間：本機の保証は、保証書によりご購入日から6ヵ月間です。なお、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証書は大切に保管くださるようお願いいたします。

●お買い上げ店による修理調整：故障の場合は、直接お買い上げ店へ保証書とともに持参ください。責任をもって修理調整いたします。

●保証期間後のサービス：保証期間をすぎても、有償にて責任をもってサービスを実施いたします。なお、補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切りより最低6年となっております。

●お問い合わせ先：保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か、裏面のサービス網宛お問い合わせください。

# ヤマハのサービス網

## 〈お客様ご相談窓口〉

東京電音サービスセンター ☎(03) 255-2241  
 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)  
 東京ステレオサービスステーション ☎(03) 255-2241  
 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)  
 東京電音サービスステーション ☎(03) 255-2241  
 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)  
 横浜電音サービスステーション ☎(045) 212-2223  
 〒231 横浜市中区本町6-61-1  
 新潟電音サービスステーション ☎(0252) 43-4321  
 〒950 新潟市万代1-4-B(シルバーポールビルヤマハ新潟センター2F)  
 大阪電音サービスセンター ☎(06) 877-5262  
 〒564 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)  
 大阪ステレオサービスステーション ☎(06) 445-6421  
 〒550 大阪市西区江戸堀1-9-1(肥後橋センタービル6F)  
 大阪電音サービスステーション ☎(06) 877-5262  
 〒564 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)  
 四国電音サービスステーション ☎(0878) 33-2233  
 〒760 高松市南新町6-1(岡田ビル2F)  
 名古屋電音サービスセンター ☎(052) 231-2432  
 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

名古屋電音サービスステーション ☎(052) 231-2432  
 〒460 名古屋市中区栄1-8-7  
 北陸電音サービスステーション ☎(0762) 43-5341  
 〒921 金沢市炭本町7-7  
 浜松電音サービスステーション ☎(0534) 56-9211  
 〒430 浜松市東伊場2-14-1  
 九州電音サービスセンター ☎(092) 472-2137  
 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
 九州電音サービスステーション ☎(092) 472-2137  
 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
 広島電音サービスステーション ☎(082) 874-3787  
 〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2205-3  
 北海道電音サービスセンター ☎(011) 781-3621  
 〒065 札幌市東区本町1条9-3  
 北海道電音サービスステーション ☎(011) 781-3621  
 〒065 札幌市東区本町1条9-3  
 仙台電音サービスセンター ☎(022) 22-6144  
 〒980 仙台市大町2-2-10(住友生命青葉通りビル)  
 仙台電音サービスステーション ☎(0222) 96-0249  
 〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター3F)

## 〈お預り品修理拠点〉

東京電音サービスデポ ☎(03)  
 〒171 東京都練馬区高野台2-3-10  
 大阪電音サービスデポ ☎(06)  
 〒564 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)  
 名古屋電音サービスデポ ☎(052)  
 〒460 名古屋市中区栄1-8-7  
 九州電音サービスデポ ☎(092)  
 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
 北海道電音サービスデポ ☎(011)  
 〒065 札幌市東区本町1条9-3  
 仙台電音サービスデポ ☎(022)  
 〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター)  
 〈本社〉  
 営業技術部 電音サービス課 ☎(053)  
 〒430 浜松市中沢町10-1



# YAMAHA